

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 9 月 17 日 (2015.9.17)

【公表番号】特表 2014-521788 (P2014-521788A)
 【公表日】平成 26 年 8 月 28 日 (2014.8.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-046
 【出願番号】特願 2014-523056 (P2014-523056)
 【国際特許分類】

C 08 G 69/32 (2006.01)

【FI】

C 08 G 69/32

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 27 日 (2015.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI)、p - フェニレンジアミン (PPD)、およびテレフタロイルジクロライド (TCL) の残基を含むポリマーであって、多分散指数が 1 ~ 2 であるポリマー。

【請求項 2】

2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI)、p - フェニレンジアミン (PPD)、およびテレフタロイルジクロライド (TCL) の残基を含むポリマーであって、オリゴマー含有率が 1.0 重量パーセント以下であるポリマー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

実施例 6

実施例 1 および実施例 2 のポリマーを個々に、(1) 硫酸含有溶媒、または (2) N - メチル - 2 - ピロリドン (NMP) もしくはジメチルアセトアミド (DMAC) と無機塩とを含有する溶媒、のいずれかと混合する。ポリマーが溶媒に十分に溶解し、繊維の紡糸に好適な溶液が形成されるまで、必要に応じて冷却して温度を制御しながら、混合物を攪拌する。溶液を紡糸口金から押し出し、エアギャップ紡糸し、凝固させてフィラメントにし、それを洗浄し、乾燥し、ポビンに巻き取る。

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1. 2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI)、p - フェニレンジアミン (PPD)、およびテレフタロイルジクロライド (TCL) の残基を含むポリマーであって、多分散指数が 1 ~ 2 であるポリマー。

2. 多分散指数が 1 ~ 1.8 である、上記 1 に記載のポリマー。

3. 多分散指数が 1 ~ 1.5 である、上記 2 に記載のポリマー。

4. 2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI)

、p - フェニレンジアミン (P P D) 、およびテレフタロイルジクロライド (T C 1) の残基を含むポリマーであって、オリゴマー含有率が 1 . 0 重量パーセント以下であるポリマー。

5 . オリゴマー含有率が 0 . 7 5 重量パーセント以下である、上記 4 に記載のポリマー

。

6 . オリゴマー含有率が 0 . 5 重量パーセント以下である、上記 5 に記載のポリマー。